

Tamagawa DreamBand

結成20周年記念演奏会

9/9 (土) 杜のホールはしもと



ご挨拶

北村 議見

本日はドリームバンド演奏会にお越しいただきありがとうございます。
います。

ドリームバンドは、2003年の玉川学園同窓会行事において、同窓生による演奏を実現できないかという依頼を受けメンバーを募ったことが始まりでした。

当時私は、中高大と吹奏楽活動の盛んな玉川で、中高大吹奏楽団OBフル参加の合奏が楽しめたらいいなあという夢を持っていました。そこに同窓会からの提案があり、またとない機会と引き受け、私に近いところから「友達の友達は友達」というように他のOBへ輪を広げて、2003年の演奏を実現しました。

同窓会からの演奏依頼は2010年まで続きました。同窓会行事から離れた後も年に一度OBが集い、「演奏&宴会」を楽しむ幸せを捨て難く感じたメンバーは私だけでなく、その後もドリームバンドミーティングとして継続するに至っています。

振り返ると、同窓会の依頼演奏が無くなった時期、COVID-19による中止の時期を経ながら20年続いたかと感慨深いです。中、高は3年、大学は4年ですから、OBになって楽しむ時間のほうが長くなりました。孫ができる年になっても、若いときの仲間と、昔と変わらぬ雰囲気の中で合奏を楽しむ幸せを味わえる年に一度のこの日は、まさにドリームなのです。

エントリーや楽譜配布はネット、練習は個人、リハーサルは1～2回で演奏会というドリームバンドミーティングの演奏会の部です。練習不足や演奏事故は笑って許して頂き、幸せいっぱいの方々の演奏からいくらかの幸せをお持ち帰りいただければ幸いです。

それではごゆっくりお楽しみください。

ドリームバンド 20周年記念演奏会に寄せて

田中 旭

1977年に玉川大学吹奏楽団指揮者として玉川の丘で学びはじめました。それまでの中学生吹奏楽部とは比べものにならない個人のレベルの高さに驚き慌てたことを懐かしく思い出します。

大学生のおかげで吹奏楽に関する多くの知識を得ることも出来ました。吹奏楽の為に作曲された名曲を片っ端から演奏させてもらったのもわくわくしたものでした。

創立者小原國芳の言われた「神様に捧げる音楽を」をモットーとして演奏することで玉川サウンド、玉川音楽を表出、表現する努力が出来、成長できたと確信しています。

ドリームバンドもそれを求めて互いに響かせあうことを暗黙の了承で集っていると思います。

こんなに素晴らしい道楽はありません。

玉川大学吹奏楽団卒業生発案によって出来た「夢の楽団」ドリームバンド設立20周年おめでとうございます。

2023年も指揮をさせて頂き感謝です。

今回は、若いメンバーも多く大変頼もしく、これからも玉川の丘にドリームバンドのサウンドと音楽が続いて鳴り響いていくことでしょう。

プログラム

開場 13:30 開演 14:00

【第一部】

ドラゴンクエスト序曲

Dragon Quest Overture

すぎやまこういち

吹奏楽のための第一組曲

The First Suite for Military Band

Gustav Holst

序曲 「春の猟犬」

The Hounds of Spring

Alfred Reed

【第二部】

マーチ！マーチ！！マーチ！

アルセナール

Arsenal

Jan Van der Roost

ワシントン・ポスト

Washington Post

John Philip Sousa

国民の象徴

National Emblem

Edwin Eugene Bagley

陽はまた昇る

The Sun Will Rise Again

Philip Sparke

第六の幸運をもたらす宿

The Inn of the Sixth Happiness

Malcolm Arnold



曲目解説

【ドラゴンクエスト序曲】

ゲームソフト「ドラゴンクエスト」シリーズの楽曲を作曲者のすぎやまこういち自身がシリーズ（I-XI）ごとにオーケストラ用の組曲へ編曲した交響組曲『ドラゴンクエスト』楽曲群の曲で、各シリーズ作品のオープニングテーマ。2020東京オリンピック開会式では、入場行進曲のトップバッター、さらに最後の入場国・日本の締めとしてこの曲が用いられました。

曲は、どのシリーズでも基本的には「何らかのファンファーレの後にメインテーマが流れる」という構成で、メインテーマはCMでも流されているためシリーズの中で最も有名な曲でしょう。本日演奏する初代序曲は、森に響き渡る狩人の角笛、それに続いて勇ましい行進曲が流れる、というイメージで作曲されました。

【吹奏楽のための第一組曲】

イギリスの作曲家グスターヴ・ホルスト（Gustav Holst）の3楽章からなる吹奏楽曲です。吹奏楽民の間では「一組（いちぐみ）」の愛称でも親しまれていますが、当楽団でも2003年の第一回演奏会でも演奏した思い出の曲です。グスターヴ・ホルストといえば、とつても有名な管弦楽曲『惑星』の作曲者として知られていますが、管弦楽・吹奏楽曲だけでなく、オペラや合唱曲、ピアノ曲など様々なジャンルの作品を遺しています。その中でも『吹奏楽のための第一組曲』は、吹奏楽の分野における古典的作品の一つとして重きが置かれ、プロの楽団をはじめアマチュアでも非常によく演奏される有名な曲です。

【序曲 春の猟犬】

吹奏楽界の巨匠、アルフレッド・リード（Alfred Reed）の作品の中でも『アルメニアン・ダンス Part 1』と並んで特に人気の高い楽曲の一つで、“A（急）-B（緩）-A（急）”の伝統的な三部形式の序曲の形で作られています。

曲の冒頭及び再現部で演奏される 6/8 拍子を中心としたテーマは、まさに春の訪れを喜ぶ猟犬が元気よく駆け回り”若さあふれる快活さ”を、中間部の叙情的な美しいメロディーは“優しい恋の甘さ”を表現しています。

生き生きとした躍動感あふれるテーマと美しく甘いメロディーの対比を是非お楽しみ下さい。

【マーチ！マーチ！マーチ！】

玉川学園の吹奏楽部員として過ごし、計り知れないほどの多くの思い出は、今でも元気の源、いつまでも色褪せない記憶となっています。その中に、打楽器メンバー特有の、おそらく全員が語るであろう「体育祭」があります。『カール王行進曲』と聞けば根棒体操、『銃声』は組体操「タンブリング」の退場曲、体育祭より、

コンクール課題曲のマーチを掲げる方もいらっしゃるでしょうが、玉川学園の幼～大学までの約 3 千名の行進は、私たちが演奏するマーチでオープニングから盛り上がっていたことは、吹奏楽部員としての誇りです。今回3曲のマーチをその時と同じようにドラムマーチでつなぎ演奏する機会を与えていただきました。

当時の練習ではグラウンドのてっぺんに楽器をならべ、メンバー全員先輩から、「バスドラは指揮者！」「互いのリズムを聞きあいながら絶対に乱れることはないように！」この言葉を何度聞いたことやら。当時、ドラムマーチは、4分の2と8分の6拍子の2種類を次にくるマーチの拍子に合わせて選んでいました。今回は、皆さんも聞きなれている4分の2の方を入れ、全員でマーチを楽しみましょう。

【アルセナール】

1995年、出身地ベルギーで初めて鉄道が開通した都市「メヘレン」の鉄道工場吹奏楽団の創立 50 周年委嘱作品として作られたコンサートマーチ。華やかで格調高い式典行進曲で、今までにドリームバンドでも何回か演奏いたしました。この後の行進用マーチとの性格上の違いを味わっていただきたいと思います。

【ワシントン・ポスト】

アメリカの新聞ワシントンポスト社の紙上で行った作文コンテストの表彰式で使う行進曲を、当時アメリカの海兵隊楽団長スーザに依頼し、1889年新聞名と同じタイトルのこのマーチを初演しました。スーザは、100 曲を超えるマーチを作り、「マーチ王」と呼ばれました。マーチングバンド用巨大チューバのスーザフォーンを考案。この曲の拍子は8分の6。私たちは、今までに「星条旗よ永遠なれ」をはじめ、スーザのマーチをどれほど演奏したことでしょうか。

【国民の象徴】

十代からコルネットを吹きオーケストラや市民バンドのディレクターをしながら、1902年、この曲を作曲。なんといっても、アメリカ国歌の冒頭部分が使われています。独立記念日のお祝いで、愛国的な曲として演奏されます。何時の頃からか、高等部の定期演奏会では、「ナショエン」の通称で親しまれ、毎回といっていいほど、アンコールの最後を飾ります。スネアドラムの6連音符連打の爽快感、煌びやかで躍動感に満ちた私たちにとっては特別なマーチといえましょう。



【陽はまた昇る】

作曲者のP.スパークはこの曲に「2011年3月に起きた日本の地震と津波の被災者のために」との副題をつけています。東日本大震災発生当時、その被害の大きさを知ったスパークが復興支援の為にとわずに1ヶ月足らずで発表したもので、彼はその作品の印税の全てを日本赤十字社の緊急救済基金に寄付する事としました。震災後極めて早い時期に出版に至った事、教会音楽を思わせる抒情的な美しいメロディー、そして彼の復興支援の想いに報いるべく、現在でも広く演奏されています。復興は未だ道半ばではありますが、被災地に想いを馳せ、心からの復興支援と鎮魂を祈って演奏致します。

【第六の幸運をもたらす宿】

1958年に公開された同名映画(邦題~六番目の幸福~)の

映画音楽としてマルコム・アーノルドにより作曲され、後に3つの曲からなる管弦楽曲として再編されました。

アラン・バージェスの小説「小さな婦人」を原作とするこの映画は、実在の人物グラディス・エイルワードを主人公としています。第二次世界大戦の最中、小間使いをしていた英国人少女は自ら志願して中国の山村カンチェンへ宣教師として赴任し、様々な困難に立ち向かっていくというストーリーです。

第1曲では主人公グラディスがスーツケースを片手にロンドン市街を歩く情景が、第2曲ではグラディスと中国軍将校であるリン・ナンとの愛情が深まる様子が、そして第3曲では彼女が村の子供達を引き連れて戦火を逃れ無事に目的地へと到着する、まさに幸せな結末が表現されています。

指揮者紹介

田中 旭



1967年、国立音楽大学器楽科クラリネット専攻卒業、翌1968年同専攻科修了。教諭として東京都品川区立荏原第二中学校に着任し、1971年に吹奏楽部を創部するとともに、1972年から1977年まで東京都吹奏楽連盟理事を務める。

1977年玉川学園女子短期大学に着任し、玉川大学吹奏楽団常任指揮者に就任。以来、34年間にわたり同吹奏楽団を指導し、2005年に吹奏楽コンクール全国大会金賞に導き自らも指揮者賞を受賞。1999年、イーストマン音楽大学、コロラド大学、デンバー大学のクリニックに参加、2009年にはシカゴで開催された「ザ・ミッドウェスト・クリニック」に参加、研鑽を積む。クラリネットを大橋幸夫、小笠原長孝。室内楽を伊達良。音楽教育学法を岡本敏明、高森義文。指揮法を村方千之の各氏に師事。吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテスト審査員に多数招聘された他、吹奏楽や合唱の指導者として多方面で活躍しており、その指導には定評がある。

元玉川大学教育学部教授。元独立行政法人教員研修センター監事。現在、公益社団法人日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部長、同協会神奈川県支部長、日本管打・吹奏楽学会々員、日本クラリネット協会々員、川崎吹奏楽団常任指揮者、玉川大学吹奏楽団名誉指揮者。

三浦 博司



玉川学園中学部、高等部時代、吹奏楽部に所属(トロンボーン)。大学時代は、同好会として十数名で吹奏楽の活動をする傍ら、管弦楽団のヴェートーベン「交響曲第九番」、ドヴォルザーク「新世界」の演奏会に参加。また、中学部、高等部吹奏楽部の指導にあたる。

玉川大学文学部教育学部卒業後、大和市立小学校に着任(2009年退職)。在任中、合唱教育研究会神奈川大会、関東音楽教育研究会、少年少女合唱指導者研修全国大会に参加し、研鑽を積む。これまでに市教育研究会音楽部部長、神奈川県教育研究会理事(音楽部)、教科指導員(音楽)、音楽実技研修(講師)、中学校吹奏楽部の指導などを歴任。小学校退職後は、市内小学校の合唱、合奏、リズム、リコーダー等の指導を通して後進の育成も行っている。

メンバー紹介

◆Flute/Piccolo

足立 麻里
今城 晃子
神田 晴子
島津 美佳
富永 順一
友田 晶子 *
野口 正章
松本 篤子
吉澤 和弘

◆Oboe

赤平 美佳子
佐々木 恭子
鈴木 尚子 *

◆Clarinet

荒井 優子
石川 香織
伊藤 幹子 *
加藤 千草
神田 恵子
酒井 朝子
櫻井 美代子
佐々木 淳
島 健太郎
清水 健一郎
長谷川 正子
坂野 由佳
三浦 美穂
綿引 美智代

◆Fagott

神本 浩子 *
渡邊 優

◆Saxophone

植田 敏允
清水 恵介
竹内 正則 *
松下 裕昭

◆Trumpet

北村 謙見
小松 信吾
田中 聖
出浦 香織
細川 宏幸
味曾野 輝章 *

◆Horn

宇佐 日出人
古立 康三
竹中 文子
中村 剛 *
原田 章二
福澤 達
三好 徹史

◆Trombone

尾崎 伸二
小宮 隆一 *
館野 綾
外川 裕彦
三浦 博司

渡邊 圭輔

◆Euphonium

東 道隆 *
石井 実希
勝谷 桃子

◆Tuba

坂田 勇
澁谷 明奈
竹内 美穂
長友 裕之
藤田 良明

◆Percussion

大崎 千智 *
小林 典子
庄子 眞美
成瀬 綾
森田 優子
八木 実香

◆StageManager

里井 弘子
◆司会
大澤 桃子

◆Staff

坂巻 早苗
竹内 浩美
波田野 和美

*パートリーダー